

8 財政状況について（税抜き）

(1) 比較貸借対照表

水道事業と鶴形簡易水道事業を合わせた資産、負債及び資本の状況は次表のとおりである。

(単位：円、%)

区 分		23年度 (A)	22年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	増減率 $\frac{(A) - (B)}{(B)} \times 100$
資 産	固定資産				
	有形固定資産	14,028,132,822	13,995,325,635	32,807,187	0.2
	無形固定資産	6,551,510	6,855,058	-303,548	-4.4
	計	14,034,684,332	14,002,180,693	32,503,639	0.2
	流動資産	267,081,990	318,577,013	-51,495,023	-16.2
資産合計		14,301,766,322	14,320,757,706	-18,991,384	-0.1
負 債	固定負債	0	0	—	—
	流動負債	71,976,214	67,640,445	4,335,769	6.4
	負債合計	71,976,214	67,640,445	4,335,769	6.4
資 本	自己資本金	2,713,560,345	2,663,545,914	50,014,431	1.9
	借入資本金	7,000,571,260	7,178,698,355	-178,127,095	-2.5
	計	9,714,131,605	9,842,244,269	-128,112,664	-1.3
	剰余金				
	資本剰余金	4,397,960,052	4,290,121,322	107,838,730	2.5
	利益剰余金	117,698,451	120,751,670	-3,053,219	-2.5
	計	4,515,658,503	4,410,872,992	104,785,511	2.4
資本合計		14,229,790,108	14,253,117,261	-23,327,153	-0.2
負債・資本合計		14,301,766,322	14,320,757,706	-18,991,384	-0.1

当年度末の資産は14,301,766,322円で、前年度に比較して18,991,384円（0.1%）の減となっており、この主な要因は、現金預金など流動資産の減によるものである。

負債は71,976,214円で、前年度に比較して4,335,769円（6.4%）の増となっており、主な内容は、未払金35,654,641円のほか、預り金36,321,573円である。

資本は14,229,790,108円で、前年度に比較して23,327,153円（0.2%）の減となっている。資本の主な内容は、一般会計補助金等による繰入資本金1,804,909,442円、企業債による借入資本金7,000,571,260円、国庫補助金等による資本剰余金4,397,960,052円などである。

(2) 資 産

当年度の資産の増減及び内訳は次のとおりである。

①有形固定資産

(単位：円)

区 分		年度当初現在高 (A)	当年度増減額 (B)	減価償却累計額 (C)	年度末償却未済高 (A) + (B) - (C)
水道事業	土 地	179,686,741	0	—	179,686,741
	建 物	533,444,927	0	192,859,534	340,585,393
	構 築 物	14,703,012,046	327,499,743	3,322,396,670	11,708,115,119
	機 械 及 び 装 置	2,885,410,616	909,440	1,254,575,129	1,631,744,927
	車 両 運 搬 具	8,306,381	0	7,916,644	389,737
	工 具 器 具 及 び 備 品	85,639,919	12,554,000	56,462,439	41,731,480
	建 設 仮 勘 定	9,827,000	-8,327,000	—	1,500,000
	計	18,405,327,630	332,636,183	4,834,210,416	13,903,753,397
鶴形簡易水道事業	構 築 物	139,447,121	0	15,911,096	123,536,025
	機 械 及 び 装 置	393,916	0	18,476	375,440
	工 具 器 具 備 品	714,000	11,000	257,040	467,960
	計	140,555,037	11,000	16,186,612	124,379,425
合 計		18,545,882,667	332,647,183	4,850,397,028	14,028,132,822

有形固定資産の当年度増減額が332,647,183円、減価償却累計額が4,850,397,028円となっており、当年度末償却未済額は14,028,132,822円となっている。

水道事業における有形固定資産の主な増加の内容は、鑄鉄管更新工事、下水道工事に伴う配水管移設工事による配水設備の増である。

②流動資産

(単位：円、%)

区 分		23年度 (A)	22年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	増 減 率 $\frac{(A) - (B)}{(B)} \times 100$
水道事業	現金預金	166,789,225	247,874,526	-81,085,301	-32.7
	未収金	68,818,659	36,694,637	32,124,022	87.5
	貯蔵品	3,723,900	7,119,000	-3,395,100	-47.7
	その他の流動資産	9,614,724	10,135,301	-520,577	-5.1
	合 計	248,946,508	301,823,464	-52,876,956	-17.5
鶴形簡易水道事業	現金預金	18,022,507	16,516,071	1,506,436	9.1
	未収金	112,975	210,278	-97,303	-46.3
	貯蔵品	0	27,200	-27,200	皆減
	その他の流動資産	0	0	-	-
	合 計	18,135,482	16,753,549	1,381,933	8.2
合 計		267,081,990	318,577,013	-51,495,023	-16.2

流動資産は267,081,990円で、前年度に比較して51,495,023円(16.2%)の減となっている。これは、当年度末における現金預金の残高が、前年度末に比較して79,578,865円減少したことが主な要因である。

(3)負 債

①流動負債

(単位：円、%)

区 分		23年度 (A)	22年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	増 減 率 $\frac{(A) - (B)}{(B)} \times 100$	
水道事業	未 払 金	営業未払金	26,304,549	23,749,438	2,555,111	10.8
		未払消費税	6,947,500	5,177,800	1,769,700	34.2
		その他未払金	652,980	438,060	214,920	49.1
		計	33,905,029	29,365,298	4,539,731	15.5
	その他流動負債	預り金	36,321,573	36,274,972	46,601	0.1
		その他の流動負債	0	0	-	-
		計	36,321,573	36,274,972	46,601	0.1
小 計		70,226,602	65,640,270	4,586,332	7.0	
鶴形簡易水道事業	未 払 金	営業未払金	1,700,512	1,945,275	-244,763	-12.6
		未払消費税	49,100	54,900	-5,800	-10.6
		その他未払金	0	0	-	-
		計	1,749,612	2,000,175	-250,563	-12.5
合 計		71,976,214	67,640,445	4,335,769	6.4	

流動負債は71,976,214円で、前年度に比較して4,335,769円(6.4%)の増となった。この主な要因は、営業未払金及び未払消費税の増等によるものである。

(4)資 本

当年度の資本の状況は次のとおりである。

(単位：円、%)

区 分		23年度 (A)	22年度 (B)	比 較 増 減 (A) - (B)	増 減 率 $\frac{(A)-(B)}{(B)} \times 100$	
水 道 事 業	自己 資本 金	0	0	-	-	
	繰入 資本 金	1,803,335,668	1,794,667,870	8,667,798	0.5	
	組入 資本 金	892,428,366	853,111,498	39,316,868	4.6	
	計	2,695,764,034	2,647,779,368	47,984,666	1.8	
	借入 資本 金	6,910,932,666	7,086,198,355	-175,265,689	-2.5	
	資 本 金 計	9,606,696,700	9,733,977,723	-127,281,023	-1.3	
	剰 余 金	資本 剰余 金	4,369,573,415	4,261,734,685	107,838,730	2.5
		利益 剰余 金	112,754,698	115,494,671	-2,739,973	-2.4
		計	4,482,328,113	4,377,229,356	105,098,757	2.4
	水道事業計	14,089,024,813	14,111,207,079	-22,182,266	-0.2	
鶴 形 簡 易 水 道 事 業	自己 資本 金	15,512,546	15,512,546	0	0.0	
	繰入 資本 金	1,573,774	0	1,573,774	皆増	
	組入 資本 金	709,991	254,000	455,991	179.5	
	計	17,796,311	15,766,546	2,029,765	12.9	
	借入 資本 金	89,638,594	92,500,000	-2,861,406	-3.1	
	資 本 金 計	107,434,905	108,266,546	-831,641	-0.8	
	剰 余 金	資本 剰余 金	28,386,637	28,386,637	0	0.0
		利益 剰余 金	4,943,753	5,256,999	-313,246	-6.0
		計	33,330,390	33,643,636	-313,246	-0.9
	鶴形簡易水道事業計	140,765,295	141,910,182	-1,144,887	-0.8	
合 計	自己 資本 金	15,512,546	15,512,546	0	0.0	
	繰入 資本 金	1,804,909,442	1,794,667,870	10,241,572	0.6	
	組入 資本 金	893,138,357	853,365,498	39,772,859	4.7	
	計	2,713,560,345	2,663,545,914	50,014,431	1.9	
	借入 資本 金	7,000,571,260	7,178,698,355	-178,127,095	-2.5	
	資 本 金 計	9,714,131,605	9,842,244,269	-128,112,664	-1.3	
	剰 余 金	資本 剰余 金	4,397,960,052	4,290,121,322	107,838,730	2.5
		利益 剰余 金	117,698,451	120,751,670	-3,053,219	-2.5
		計	4,515,658,503	4,410,872,992	104,785,511	2.4
	合 計	14,229,790,108	14,253,117,261	-23,327,153	-0.2	

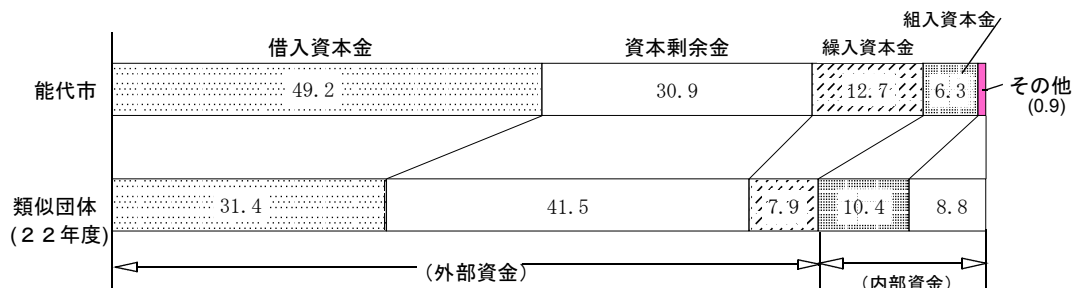
自己資本金は2,713,560,345円で、前年度に比較して50,014,431円(1.9%)の増となっている。この内訳は、一般会計からの補助金による繰入資本金の増、減債積立金の取り崩しに伴う組入資本金の増である。

借入資本金は7,000,571,260円で、前年度に比較して178,127,095円(2.5%)の減となっている。これは、企業債の元金償還残高が減少したことを示している。

剰余金は4,515,658,503円で、前年度に比較して104,785,511円(2.4%)の増となっており、これは、鑄鉄管更新事業に係る国庫補助金等によるものである。

資本は資産を形成する財源であるが、その内訳をグラフにすると次のとおりである。

資本構成・類似団体平均との比較 (単位：%)



これを見ると、借入資本金が約半分を占め、国庫補助金等の資本剰余金が30.9%と続いている。さらに一般会計補助金等の繰入資本金が12.7%で、減債積立金等の使用による組入資本金が6.3%、その他0.9%となっている。このことは、現在の資産を得る財源として使われた金額のうち、水道事業から得られた利益等の内部資金が7.2%しかなく、大部分を外部からの資金に頼っていることを示している。

また、類似団体と比較した場合、本市は借入資本金と繰入資本金の割合が非常に高く、建設改良事業のための資金調達方法が、企業債と一般会計からの補助金や出資金に偏っていることが分かる。

(5) 企業債の状況

過去5年間の企業債の推移は次のとおりである。

(単位：千円、%)

区	分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
前年度末未償還額	A	7,138,307	7,454,492	7,332,957	7,279,352	7,178,698
当年度償還額	B	363,115	524,435	444,805	303,254	322,927
当年度借入額	C	679,300	402,900	391,200	202,600	144,800
当年度末未償還額	A-B+C=D	7,454,492	7,332,957	7,279,352	7,178,698	7,000,571
当年度償還財源	F+G=E	309,525	298,465	321,362	340,044	340,664
減価償却費	F	282,230	290,421	293,634	300,271	303,944
当年度純利益	G	27,295	8,044	27,728	39,773	36,720
償還額対財源比率	B/E	117.3	175.7	138.4	89.2	94.8
償還額対減価償却費比率	B/F	128.7	180.6	151.5	101.0	106.2

年度末における未償還額は7,000,571千円で、前年度末に比較して178,127千円の減となった。

企業債の償還元金、利息、元利償還金、それぞれの料金収入に対する比率の推移は、次のとおりである。

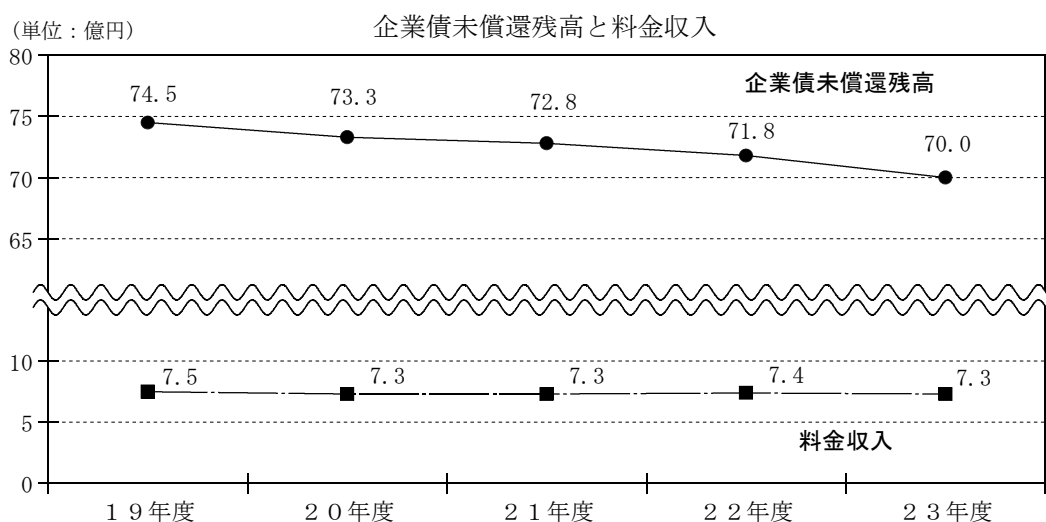
(単位：%)

区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	22年度 全国平均
① 企業債償還金元金 対料金収入比率	48.3	72.2	60.8	40.9	44.1	22.2
② 企業債利息 対料金収入比率	26.1	26.1	23.9	22.3	22.1	10.4
③ 企業債元利償還金 対料金収入比率	74.4	98.3	84.7	63.2	66.1	32.5

(注) 料金収入＝給水収益。比率は、いずれも低いほどよいとされている。

前年度に比較して料金収入が減少したこと、償還金元金が増加したことにより、①及び③の比率が高くなっているが、支払利息が減少したことにより②の比率は低くなっている。

また、年度別の企業債未償還残高と料金収入をグラフにすると、次のとおりである。



当年度末の企業債残高は料金収入の約10倍の額で、企業債元利償還金も毎年度、料金収入の半分以上となっている。